

事業番号	08 01 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	山岳高原観光推進費	部局	観光部	課・室	山岳高原観光課		
		実施期間	S38 ～	E-mail	mt-tourism@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標	④観光消費額						
総合的に展開する重点政策	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり	4-4 生命・生活リスクの軽減					

1 現状と課題

山岳遭難は平成25年をピークに高水準で推移している。コロナ禍以降の傾向として、60代以上の高齢登山者の戻りがあること、また、密を避けられる登山人気の高まり等により登山初心者が増加し、計画不足、体力不足、経験不足に起因する遭難の増加に繋がり、令和3年は発生件数、遭難者数共にコロナ前に迫る値となった。また、冬山においてはインバウンドの回復等によりバックカントリーエリアでの遭難が増加傾向にある。

2 事業目的

全国に誇る山岳県として、登山に関する安全対策を総合的に実施し、安全・安心で楽しい登山環境の確立を目指す。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①山岳遭難を未然に防ぐ山岳遭難防止常駐隊を設置

【長野県山岳遭難防止対策協会実施事業】

・夏山・秋山シーズンにおける山岳遭難事故防止のため、登山者に対する声掛け、遭難発生時の救助活動等の山岳パトロールを行う山岳遭難防止常駐隊を北アルプスに設置。

②信州山岳アカデミーの開催

・県内外の一般登山者や登山用品店等のスタッフに対し、安全に登山するための知識を学ぶ「信州山岳アカデミー」を実施。

・一般登山者向けには、WEB配信による安全登山セミナーを開催。登山用品店、登山ツアー旅行者には、登山用品選びのポイントなど各事業形態に応じた登山時の留意点等を、登山初心者（顧客）に伝えるためのセミナーを開催。



「信州登山案内人試験の様子」

③信州登山案内人試験の実施

・長野県の山岳等を案内する信州登山案内人を認定するための試験（筆記・実技）を6月に実施。

④山小屋が担う公益的機能の維持等に対する支援

・新型コロナウイルス感染症が終息を見通せない中で、苦境に立つ山小屋が担う公益的機能を維持し、山小屋の特殊性を踏まえた感染防止対策を徹底するとともに、昨今の原油価格高騰等の影響による機能低下等を回避するため、山小屋に支援金を給付。

・山小屋の公益性をアピールするとともに、山小屋への応援（寄付）を全国の登山愛好家等に呼びかけ、集まった寄付金を山小屋に均等配分。

4 成果指標

（推移の凡例 ア：改善 ヲ：悪化 →：変化なし ー：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	山岳遭難による死傷者数	人	120	164	↓	181	↓	180以下	未達成	安全・安心な登山環境の確立、登山者の安全意識の向上等が改善されることにより、山岳遭難による死傷者数の減少に繋がることから、「しあわせ信州創造プラン2.0」において令和4年度（計画の最終年度）の目標値として設定。	


5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計（予算現額）			
R4年度	0	82,037	60,337	142,374	82,217	140,331	3.0
R3年度	0	82,086	46,439	128,525	121,235	124,245	3.0
R2年度	0	94,221	61,000	155,221	87,426	138,509	3.0

事業番号	08 01 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	山岳高原観光推進費		部局	観光部	課・室	山岳高原観光課

6 主な取組実績と成果

<p>①山岳遭難を未然に防ぐ山岳遭難防止常駐隊の設置（R4.7～10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7～10月の夏山・秋山期間中、北アルプス南部地域、北部地域にそれぞれ山岳遭難防止常駐隊を設置し、山岳パトロール等による登山者の安全の見守り、声掛け、登山相談等の遭難防止活動を実施。 ・遭難発生時には、県警山岳救助隊との連携による遭難者の救助活動を実施。 	 <p>「山岳遭難防止常駐隊の遭難救助活動」</p>
<p>②山岳遭難の現状や登山における注意点、四季の山岳情報等の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県の特徴を活かした観光コンテンツの1つである「登山」の安全を推進するため、登山計画書の作成届出を推進（R3届出件数：251,506件）するとともに、信州山のグレーディングの活用を推進。 ・安全登山セミナーを一般登山者（342名）及び登山用品店、ツアー登山事業者スタッフ（178名）を対象に実施。 ・最新の遭難情報を伝える「島崎三步の山岳通信」、季節毎の注意点をまとめた「登山SAFETYBOOK」を作成し情報発信するなど、安全登山を総合的に推進。 	
<p>③登山道の維持補修や衛生環境の保全及び遭難対策等の公益的機能を担う山小屋の運営を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山道の維持補修や避難場所の提供など公益的機能を担う山小屋に対し、コロナ禍における経営維持を目的とした緊急措置として「山小屋公益的機能維持等支援金」（R4:113施設に各40万円を給付）及びクラウドファンディング型ふるさと納税「信州の山小屋応援プロジェクト」（R4寄付総額14,620千円、124施設に均等配分）を実施。 	

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	山岳遭難による死傷者数	R3年度推移	↘	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
目標値に対しては令和2年は120人、令和3年は164人と減少したが、アフターコロナへの移行とともに、多くの登山者が県内外から訪れたため、令和4年の山岳遭難死傷者数は181人と増加に転じた。							

8 今後の事業の方向性

<p>(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年は、新型コロナウイルス感染症発生以降初めて行動制限のない一年となり、多くの登山者が県内外から訪れた。60代以上の高齢登山者の戻りがあったこと、密を避けられる登山人気が高まり等により登山初心者が増加したことにより、計画不足、体力不足、経験不足に起因する遭難の増加に繋がり、発生件数、遭難者数共にコロナ禍前に迫る値となった。 ・冬山についても、行動制限の緩和に伴うインバウンドの回復等により、北アルプス（白馬・大町）、北信地域においてバックカントリーエリアでの遭難が増加した。
<p>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山者に対する登山口での相談活動や山岳遭難防止常駐隊による巡視・指導を強化し、遭難の未然防止に取り組む。 ・体力の衰えや過去の成功体験等による認識不足の「中高年登山者」、正しい情報の判断ができない「経験の浅い登山者」、冬山におけるバックカントリーエリアでのインバウンドの遭難増など、コロナ禍以降の山岳遭難の特徴を踏まえつつ、傾向を多面的に分析し、効果的かつ積極的な対策の実施に努める。 ・新型コロナウイルス感染症収束後も、引き続き山小屋関係者と一体となって安全登山を推進する体制を維持するための検討を行う。

事業名	山岳高原観光推進費	部局	観光部	課・室	山岳高原観光課
-----	------------------	----	-----	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	山岳遭難防止対策事業	53,759 千円	41,290 千円	43,372 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	長野県山岳遭難防止対策協会負担金	負担金	登山者の遭難の未然防止、迅速な救助活動の推進のため長野県山岳遭難防止対策協会が行う事業に対し、負担金を支出 期間中、北アルプスに32名の常駐隊員を配置。32件33名の遭難者の救助活動に従事。	
2	涸沢山岳総合相談所管理委託	委託	安全登山のための注意喚起や山岳情報等の提供を行うため、涸沢山岳総合相談所の維持管理を委託 7～10月の常駐隊設置期間に合わせて涸沢山岳総合相談所を開設。	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	山小屋の公益的機能等応援事業	46,000 千円	45,828 千円	59,820 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	山小屋公益的機能維持等支援事業	直接	山小屋に対し、公益的機能の維持及び感染症防止策の実施に係る支援金を給付 県内及び近隣の山小屋113施設に各40万円を給付	
2	山小屋支援クラウドファンディング事業	直接	ふるさと納税によるクラウドファンディングを活用して集めた山小屋支援の寄付金を、希望のあった県内及び近隣の山小屋に均等に配分 寄付総額14,620千円、県内及び近隣の山小屋124施設に均等配分	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	安全登山普及推進事業	7,105 千円	7,101 千円	5,519 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	登山ポスト回収事務費補助金	補助金	各地区山岳遭難防止対策協会等が実施する登山ポストからの登山計画書回収費用の一部を補助 県内12地区遭対協及び2町村と協定を締結し、104ヶ所の登山ポストから登山計画書を回収する費用を支援	
2	長野県登山安全条例及び信州の山の魅力等の広報	直接	条例の周知、安全な登山の啓発及び信州の山の魅力を発信するための広報を実施 WEBセミナー1回（参加者342名）、登山用品店等スタッフ向け講習4回（延べ178名）	
3	条例の認知状況、登山計画書の届出状況の把握	直接	条例の認知状況や登山計画書の届出状況等を把握するための登山者アンケート調査を実施 各地域振興局と連携し必要サンプル数1,200枚に対し1,228枚のアンケートを回収	

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	信州登山案内人利用促進事業費		5,018 千円	3,127 千円	3,028 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州登山案内人試験及び登録事務	直接	信州登山案内人試験の実施及び登山案内人の登録等を実施 受験者46名のうち25名が合格し、延べ約450名が登録		
2	既有資格者の資質向上	直接	信州登山案内人能力向上研修（実技・座学）の開催 実技研修：8回、117名 座学研修：2回、176名が受講		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	山岳総合センター管理運営事業費		26,627 千円	26,899 千円	28,592 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	山岳総合センター指定管理	指定管理	山岳総合センター指定管理料 受託者：一般社団法人長野県山岳協会事業管理 延べ施設利用者数5,989名（前年比125%）		